

地域自然情報ネットワーク 第 19 期事業報告書

2021 年 7 月 1 日から 2022 年 6 月 30 日まで

1. 自然環境の調査解析にかかわる技術の企画・開発および評価事業

2. 自然環境情報の整備・公開事業

- 令和 3 年度生物多様性地域戦略策定の促進に向けた調査検討業務

全国の生物多様性地域戦略の策定状況の更新および、記載内容に関する整理とデータ作成、地域戦略手引き草案の推敲を行った。(株式会社地域環境計画より受注)(増澤・逸見・荒尾・梶並)

3. 自然環境保全等にかかわる人材育成・啓蒙活動事業

- 東京環境工科学園での人材育成

東京環境工科学園学生を対象に、自然環境分野への GIS 講座を選択授業のひとつとして行った。講座は、基本的な内容の I (導入編) と、簡単な解析を含めた II (応用編) の 2 講座を実施した。ArcGIS のバージョンは 10.2 を使用した。(梶並・井本・八田)

- 港区麻布総合支所自然教育プログラム(親子でエコっと)プロジェクトへの協力

2021 年 11 月 5 日に檜町公園で開催された「自然探検ツアー! 見つけた生き門を記録してみよう!!」に協力。「よそみっこ」の荻本氏にチェックシートとバードクラフトの提供および当日の説明を依頼。檜町公園とミッドタウンガーデンにて、鳥類と植物のスタッフ各々 2 名が実施にあたり、観察とアドバイスをを行う。(井本・麻生・山田)

- 武蔵野市観察会

武蔵野中央公園をその周辺にて、位置情報を使うスマホアプリ『バイオーム』を利用し、昆虫を題材にした子供向け観察会を企画・実施した。(梶並)

- 地域自然情報研究会の開催

活動自粛の影響もあり開催しなかった。

4. 自然環境保全にかかわる活動支援事業

- 「野生生物と社会」学会への協力

前年度より継続して、「野生生物と社会」学会の行政研究部会の事務局を置いた。(荒尾)

- NPO 法人野生生物調査協会

協力関係を継続した。

- 西武・狭山丘陵パートナーズ指定管理業務

東京都建設局の都立公園指定管理者である西武狭山丘陵パートナーズの構成員として、「都

立公園狭山丘陵グループ」に参加した。(増澤・荒尾)

- 阿蘇草原再生協議会

前期に引き続き、構成員として協議会本会・草原学習小委員会に出席参画した。(増澤)

- 上サロベツ自然再生協議会

引き続き構成員として、再生技術部会および再生普及部会に参画した。

- 令和三年度緑地管理における二酸化炭素の生態貯留と土壌貯留の促進事業

出光興産株式会社北海道製油所(苫小牧市)における工場緑地のバイオマス資源を活用した二酸化炭素吸収量増加の実証試験を共同で実施した。(出光興産株式会社・地域環境計画)(逸見・増澤・荒尾)

※出光興産株式会社北海道製油所は、第 10 回みどりの社会貢献賞(都市緑化機構)を受賞されたほか、環境省認定 OECM の登録候補地となっている。

- 東京都街路樹調査への協力

東京都で実施している街路樹調査について、その調査内容や実施方法についてアドバイス等を行った。(梶並)

- 東京都自然関連資料収集整理、標本保管等のありかたについて

東京都 環境局 自然環境部緑環境課とダイアログを行い、アドバイスを実施した。(増澤)

- いちかい浮島プロジェクトへの協力

(公社)日本技術士会栃木県支部活動として里山資源の保全活用と地域活性化を企画し市貝町に提案。地方創生プログラムの助成を受けて実行した。

廃校プールにおいて、里山資源を利用した浮島の設置を行った。プール内では浮島により水の浄化や生物の生息地としての環境が創出された。さらにそのことにより、放流したキンブナの良好な生育が確認された。(市貝町より 日本技術士会栃木県支部が受託：担当・井本)

- 都市計画学会ワークショップでの発表

都市計画学会の研究交流文化会・都市におけるグリーンインフラの役割と社会実装(CPIJ 研究交流文化会)において、「子供の自然体験と認識—都市の GI の機能」について発表。(井本)

- 都市計画学会オンライン公開セミナー(2021年11月23日)

「市民協働でつくるグリーンインフラ—持続可能な取組のために—」において

「いちかい浮島プロジェクト—里山資源を活かす—竹と土と草から創った」を発表。(井本)

5. その他の事業

- メーリングリスト・ホームページの維持管理
 - ・ ホームページ等による広報を行った。
 - ・ 広報を会員への情報提供の重要な手段と考え、その改善につとめた。あわせてメーリングリストの管理を行い、メーリングリストは入退会に応じて随時管理した。
 - ・ ホームページにあわせて **Facebook** による広報を行った。